

子どものおやつ、登山や運動中の糖分補給に、また洋酒のおつまみとしても、欠かせないチョコレート。專業メーカー、高岡食品工業(尼崎市)の製品は、麦チョコなど、昔懐かしい品ぞろえが特徴だ。高岡和子会長(81)は「原材料の配合次第で、口溶けや苦味・甘味が変わり、老若男女が楽しめる」と魅力を語る。

同社は1948年、高岡会長の夫、故康博さんが、

# ひょうごの ロングセラー

38

## 麦チョコ—高岡食品工業

# 懐かしの味 老若男女に



「今年の営業キャッチコピーは『おいしさ愛』」と話す高岡和子会長＝尼崎市東本町4

実家の菓子問屋を母体に設立。終戦直後、米兵にチョコをせがむ子どもを見て、「安くておいしいものを食べさせたい」と思ったのがきっかけだった。カカオ豆の焙煎から一貫生産できる装置を思い切って購入し、

本格製造に乗り出した。大手製菓会社向けにO.E.「麦同士がおだんごみたいにくっついた」。そこで、M(相手先ブランドによる生産)供給する一方、自社チョコで覆った麦が1粒ずつばらけるように、温度管理や油脂分の含有量を工夫し、70年代によく売られた麦チョコだった。

〈高岡食品工業〉1877(明治10)年、菓子問屋として創業。その後小売りにも進出し、1948年に法人化。53年から本格的にチョコレートの製造を始めた。資本金8400万円。「タカオカ」ブランドで展開している。

一方、ウイスキーブームでチョコ需要が拡大。高岡会長は「酒の量販店も販売するようになり、商社を通じて海外でも売れるようになった」と笑顔を見せる。

(段 貴則)

# 1000円

化粧品大手が販売している店頭での価格が千円未満の基礎化粧品

売を開始した。こちらも店頭での価格は千円未満。同社は「台湾などでも販売することアジアの中間層への浸透も視野に入れている」と話している。

中国での販売「影響はない」日産社長が見解

【鄭州共同】訪中している日産自動車のカルロス・ゴーン社長は20日、河南鄭州市で開かれた新工場の完工式後の記者会見で、

「受注残の影響については、供給力がたまっており、供給力不足の方が問題だ。われわれのビジネスに影響はない」との認識を示した。

（内部）で摩擦が発生しているという話はな

弁相手との関係についても「共通の目標を持って協調的に仕事をしており、事件により合併会社（の内部）で摩擦が発生している」と語った。

食品スーパーのトーホー(神戸市東灘区)は20日、福岡県での食品スーパー事業から撤退すると発表した。連結子会社が同県で展開する全5店舗を今秋、地元の実業家に譲渡する。低価格志向による競争激化で採算が悪化しており、早期の効率化が必要と判断した。

譲渡先は、同県を地盤とする食品スーパーのマミーズ(福岡県柳川市)。トーホーの連結子会社・トーホーストア(神戸市東灘区)が設ける新会社に5店舗を引き継いだ上で、マミーズが新会社の子会社として11月1日付で取得する。不採算店を切り離したいトーホーと、同

# トーホー

食品スーパー競

住 9月 女